

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

Injury Alert (傷害注意速報)

No. 17 ラムネ瓶の口による舌外傷

事例	年齢：8歳 性：女	
傷害の種類	舌のうっ血と腫脹	
原因対象物	ラムネ瓶	
臨床診断名	舌外傷	
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人・状況	お祭りの縁日で買ったラムネを自宅に持ち帰り、リビングで一人で飲んでいた。
	発生時刻	8月31日 午前10時頃
	発生時の詳しい様子と経緯	ラムネを飲み終え、舌を飲み口に付けて中の空気を吸い続けたところ、ビンに舌が吸着した。これが面白くて吸い続けたところ、気がつく舌がビンから抜けなくなった。母親に知らせ、1時間余り悪戦苦闘したが抜けなため、当院救急外来を受診した。舌が抜けなくなって約1時間後の受診であった。
治療経過と予後	来院時、意識は清明、顔色も良好であった。バイタルサインでは、体温は36.9℃、心拍数は113回/分、呼吸数は22回/分、SpO ₂ は99%であった。舌が瓶の口から2～3cm中に入っている状態であった(写真1)。まずはじめに、ビンと舌のあいだにゾンデを挿入し、ビンの中の陰圧の解除を試みた。それでも舌が抜けなため、サーフロを挿入してシリンジから空気を注入し陽圧となるよう試みた。しかし、うまくいかず、さらにもう一本ゾンデを挿入し、キシロカインゼリーを注入してねじりながら引き抜いて(写真2)、抜去に成功した。処置時間は計15分を要した。抜去後の舌の先端部には、発赤、腫脹、内出血が認められた(写真3)。耳鼻科医にも診察を依頼し、経過観察でよいというコメントがあり、帰宅した。	

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

- ラムネが入っているビンの口のキャップは2種類ある。1つはネジ式キャップでねじって外せるタイプ、もう一つは打ち込み栓タイプで、これは外すことができない(写真4)。
- この事例のビンは、キャップが外れない打ち込み栓のビンであった。ビンの口は直径約13mmと本体に比べて狭くなっており、とっくりのような構造であった。
- 舌をすぼめてビンを長時間吸い続けていたため、ビンの中が陰圧となって舌が引き込まれ、これにうっ血による腫脹が重なったため抜去が困難となった。
- このような事例では、時間の経過に伴ってビン内に吸い込まれた舌のうっ血が強くなるため、さらに抜去が困難となる。迅速な処置が必要である。
- 小児では遊びとして、いろいろな形をした容器を口で吸うことがある。容量が少ない容器で、容器の口の部分が狭くなっている場合には同様なことが起こりうる。



写真1 舌が瓶内に2～3cm入っている(→部分)



写真2



写真3



ネジ式キャップ→外せる。



打ち込み栓→外せない。

写真4
